

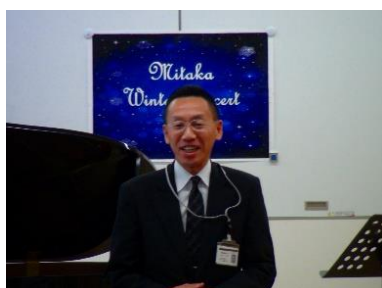
よく晴れて冬らしい寒さの 12 月 15 日(土)、多目的ホールにて今年度の PTA 文化事業
Mitaka Winter Concert 2018~ヴァイオリンとピアノの二重奏~が開催されました。



はじめに山本副校長先生から「絵でも音楽でもよい芸術に触れると心が晴れやかになります。今日のコンサートを楽しみたいですね」とのお話をいただきました。

次に PTA 会長山根さんから「ピアノの塚本さんとはご同窓で PTA 活動されている共通点などご縁を感じるエピソードや本日のコンサートは 3 年生の学年委員さんが半年以上かけて準備された企画」とのお話がありました。

司会進行の武地さんから演奏者お二人のご紹介です。ヴァイオリンの塚本さんは今回のようなスクールコンサートやサロンコンサートを主催・演奏されており、ピアノの川元さんは震災後の現在も継続して東日本大震災支援のチャリティーコンサートを開くなど、お二人一緒にまたそれぞれの演奏活動でご活躍されているそうです。



塚本さんと川元さんが登場され演奏が始まりました。1曲目はクライスラー作曲テンポ・ディ・メヌエットです。マイクやスピーカーを通さず直接感じる生の響きや音、間近で演奏されるお二人の姿に引き込まれます。



本日のコンサートは「踊り」をテーマに選曲しプログラムを作ってくださいました。塚本さんが曲の合間に曲の持つ背景や聴きどころや楽しむためのヒント等、とても優しく丁寧に楽しそうにお話してくださるので聞き慣れた曲も初めての曲もより楽しむことができました。

2曲目はテーマである踊りの曲、ヴィタリ作シャコンヌ。重厚なピアノからはじまりヴァイオリン演奏が入っていく。ゆったりとした雰囲気から、軽やかにはねるピアノと小刻みに音を奏でるヴァイオリン、つま先立ちで踊っているかのような曲調へ。動きと変化のある演奏でした。

なんとヴィオラ奏者でもある塚本さん！ヴァイオリンとヴィオラの大きさや音域の違いを解説してくださいました。ヴィオラはフルサイズより少し小さいサイズだそうです、実際に並べて見るとヴァイオリンとヴィオラの大きさの違いがよくわかりました。ヴァイオリンより太い弦を持つヴィオラは音を響かせるため腕の力がより必要なのだそうです。

お話の後には通常チェロで演奏されることが多いバッハの無伴奏チェロソナタとサン・サーンスの白鳥の2曲をヴィオラで弾いてくださいました♪



「ヴィオラの音を頭の片隅に置いていただければ次に見た時に親しみが沸くと思います。オーケストラのヴァイオリンとチェロの間にヴィオラもいることを覚えていてください」塚本さんのお話から弦楽器への想いが伝わってきます。

ヴァイオリンとピアノに戻り、5曲目はサン・サーンス作 死の舞踏。深夜の鐘の音が鳴り、さまざまな幽霊たちが集まってきて踊りだす、足元を走り回る幽霊やふわりふわりと宙をただよう幽霊、ぎこちなくステップを踏むガイコツ、そして……。ヴァイオリンとピアノの演奏が、私たち聴き手に、思い思いに踊っている幽霊たちの姿を見せてくれました。

6曲目は川元さんのピアノソロでゴリウォークのケーキウォーク(子供の領分より)を。ドビュッシーが6才の娘の為に作曲した曲で、ゴリウォークはイギリスの絵本に出てくる黒人の男の子のキャラクターであり、ケーキウォークは本日のテーマである「踊り」のひとつであることなど話してくださいました。楽しい曲調やコミカルなリズムに作曲当時ジャズが入ってきた時代背景など川元さんのお話を思いながら楽しみました。



ピアノソロの後はバンドネオン奏者ピアソラ作曲のリベルタンゴをヴァイオリンとピアノの演奏で。そしてあっという間にプログラム最後の曲に。最後はお二人からのクリスマスプレゼントとしてタイスの瞑想曲を選んでくださいました。穏やかで優しい旋律の曲にコンサートがゆっくりと終わりを迎える感覚を名残惜しさと共に感じました。

塚本さんは現在中学校のPTA会長もされており、次年度の役員選出のためお忙しいこの時期。コンサートの前日もPTA活動をされていたそうです。

PTA活動は敷居が高く大変と思われがちですが、子供や保護者と学校の架け橋となれる活動であること、子供が大きくなり少しずつ手が離れる時期に自分が輝ける場であり力を発揮できる場でもあることなど、演奏者であると同時に私達と同じ保護者としてのお話がとても印象に残りました。

演奏後本日のお礼を込めてPTA会長・副会長よりお二人へ花束が贈られました。



最後に鎌田副校長先生より「素敵なコンサートを共に拝聴でき光栄です。お互い体調を大切に新しい年を迎えましょう。」とのお言葉をいただきコンサートが終了しました。



演奏してくださった塚本さん川元さん、ヴィオラの解説やピアノの譜面をめくるお手伝いをしてくださった塚本さんのお嬢さん、準備してくださった3学年の委員の方々、皆様のおかげで日常を忘れ豊かな時間を過ごすことができました。素敵なコンサートをありがとうございました。

